

男女共生社会推進センター

# りいぶる

～男女共生社会づくり～



写真提供：橋爪喜代さん（りいぶる人材養成講座修了生）

## CONTENTS

- ①② 特集『子育て＋共同参画』
- ③④ りいぶるフェスタ2009開催しました
- ⑤ 講座れぽと
- ⑥ 男女共同参画啓発ポスター入賞作品決定  
参画課いんぷおめーしょん
- ⑦ 講座案内／貸室案内／りいぶるほっと情報

### “りいぶる”相談室から ～あなたはあなたのままで～

“りいぶる”では、女性が抱える様々な悩みを受けとめ、自分らしく生きるためのサポートをしています。  
まずはどんなことでもお電話ください。

相談専用電話 073-435-5246

◇総合相談◇

毎週火～土曜日 [面接相談] 9:00～17:30 [要予約]

[電話相談] 9:00～20:30

日曜日 [面接相談] 9:00～16:00 [要予約]

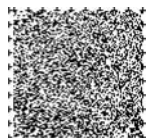
[電話相談] 9:00～17:00

◇女性のためのカウンセリング◇

毎月第1～3金曜日 13:00～16:40 [要予約]

◇女性のための法律相談◇

月3回 13:00～16:10 [要予約]



この冊子には、音声コードが、各ページ下に印刷されています。



## あったカフェ

### プロフィール

県教育委員会主催の「コミュニティ再生事業家庭教育基礎講座」をきっかけに子育て中の母親が集まりH21.1月に立ち上げた子育て支援サークル。(代表:岩崎ひろみさんを含め7名)

地域の子育て中の方が必要としている‘集まれる場’づくりに取組み、毎月、「あったカフェ」(第2・第4水曜日)と「あったかひろば」(第2・第4金曜日)を開催。誰もが気軽に利用できる場づくりや、子育て中の同土が交流の輪を広げることのできる様々な取組を実施中。

乳幼児や保護者、子育て中の方…みなさん誰もがほっとでき、気軽に立ち寄れる場づくりをめざす‘あったカフェ’。

昨年は4月～11月の間で671名の方々が利用されました。

スタッフは30代のまさに子育てまただ中の、フットワークの軽い女性たち。

まずは、‘彼女たちにとっての共同参画’を聞いてみました。

◆コトバから受け取るイメージは「協力しあって」とか「みんな(男女)で」とか「知識や個性を活かしあって」…とかでしょうか。

コトバから入っていくと、何をするのかわからなく難しいと思ってしまいますね。

私たちの活動(子育てサークルの活動)をとおして、共同参画の勉強をしていくことは大切だと思います。私たちの中では…夫と意見をまじえながら仕事をしていくことや、あったカフェのメンバーと意見を言い合ったり、共感したりしながら子育てをしていくこと、が身近な共同参画ですね。

### 【～共同参画での「男性の子育て」について思われることは?】

◆意識の問題、環境の問題、いろいろなことが関わりますが、まず、「男性が子育てに関わるのが難しい現状」があると思います。

父親が育児参加をしたり育児休暇をとりやすい、そういう理解や環境をつくる支援を企業などがもっと取り入れていただければ…、男性の意識の変化にも繋がるし、育児への参加の期待もできると思います。

メンバーの中でも、仕事の関係で父親の子育て参加がむずかしいという話も聞きますが、あったカフェの活動には参加してくれていますよ。

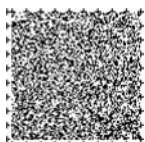
### 【～こんな支援があればと思うことはありますか?】

◆毎月、文化センター(水曜日)と保健福祉センター(金曜日)が活動場所なのですが、私たちが活動できる常設の場所があればもっといいですね。

### 【～今年の「あったカフェ」の目標を】

◆支援(活動)場所が常設できて、多くの地域の方にお越しいただきたいです。

私たちも子育て以外にも誕生学の講座やわらべうた、親子体操など、様々な分野の講座を開いて、参加者の方と一緒に交流の輪を広げていきたい、そう思っています。



# 特集

# 子育て

新しい年がスタートしました。昨年は男女共同参画基本法が制定されて10年という節目の年であり、りました。

りいづるにとって、今年がどんな年になるかは、皆さんとどう繋がっているか。2010年最初は、今年の飛躍を願うフレッシュなグループを紹介します。共同参画に関連するキーワードに「子育て」がありますが、「子育てサー(串本町)と、子育て支援の調査研究をされている「和歌山信愛女子短期共同参画」をテーマにお話を聞きました。

子育てを介して、世代の異なるグループの声をお届けします。



# + 共同参画

いづるも10月に施設をリニューアルし、新たにスタートした年でもあり  
くか、皆さんにどう共同参画を伝えていけるかが鍵となります。

クル」を結成し子育て支援活動をされているグループ「あったカフェ」  
大学 室みどり研究室ゼミナール生」（和歌山市）の皆さんに「子育て+



和歌山信愛女子短期大学保育科  
室みどり研究室 ゼミナール生のみなさん

## プロフィール

「保育士になる」という目標に向かって、学生生活を送っているみなさん。  
保育所、幼稚園等の実習もあり多忙な中、室みどり教授の指導のもと、子育て支援をテーマに様々な角度からの調査研究を  
行っています。  
3年前から毎年、りいづるとの協働企画りいづるわいわいサロン「子育て支援を語ろう会」でその研究成果を発表し、参加  
者との意見交換を行っています。

保育士をめざす彼女たちにとって、「実習」に行くことは、いろいろな意味で子育てを間近で身近に感じ取る  
「場」だったようです。  
まずはその話から…

★実習は1回生の時から始まります。幼稚園や保育所、施設（知的障害者更生施設、知的障害児通園施設）などで  
すね。1、2回生併せて50日間の実習があります。  
実習に行くと、学校で学んだことを活かすのは本当に難しいと感じます。学んだこと以上に、子どもたちの行動は  
いろいろで、自分の中で整理がつかなくなったりで。  
先輩の保育士さんからは「笑顔が大事！」と、アドバイスを受けたので、笑って接していたつもりが笑っていなか  
ったみたいなおも…  
子どもたちの行動は学んだこと以上に様々で、対応が難しかったです。  
私たちが子どもたちを見る以上に、子どもたちは私たちのことをよ〜く見ていて、顔色でこちらの気持ちを察して  
いるようでした。  
それでも、目の前で反応してくれる子どもたちを見ると保育士になりたい、という気持ちが強くなりました。実習  
で子どもたちと接することは、子どもたちが自分たちを成長させてくれる機会だったと思います。

## 【～少子化、子育て支援で思われることは？】

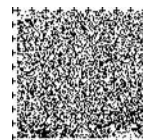
★和歌山では若い人たちが地元に残らないことが、少子化の一因に  
あるのではないのでしょうか。  
子育て支援は、まず育児休暇などが取りやすいことが必要だと思  
います。デンマークのように妻と夫が1週間交互に育児休暇がとれ  
るような制度があれば、家庭や趣味にもっと時間をつくれます。そ  
うのような支援を作ってくれば…。  
子育てに悩みを持っていたり、子ども同士の関わりを求めているお  
母さんも多い気がします。子どもを持つ親の交流ができる場、アッ  
トホームな場がいろいろな場所（駅、大型スーパーなど）にもっと  
できればいいですね。



## 【～「男性の子育て」についてはどうでしょう？】

★男性が家事・育児に協力的なのは素敵だなと思います。一緒に協力し合っていける、価値観を共有できる人はい  
いですね。

「子ども手当」など子育て支援に係る話題はつきませんが、世代によりそのとらえ方は様々です。2つ  
のグループの声にもありましたが、手当よりも環境（女性が結婚・出産で仕事をやめなくてもいいとか、  
男性がもっと家事・育児に関われるような就労環境づくりとか）の整備や、ワークライフバランスの実現  
がこれからの鍵になります。  
2010年が「子育ての環境」に変化が起きる年でもありますように。



平成21年11月21日(土)、和歌山ビッグホエールにて  
**りいぶるフェスタ2009**を開催しました。

「男女共同参画」を身近に考えていただくことを目的に開催  
しているりいぶるフェスタも、今回で10回目。  
ステージイベントとブースへの来場をあわせて614名のみ  
なさまにお越しいただきました。



## ■公開講演会

講 師：広岡守穂さん(中央大学法学部教授)

テーマ：『伝えたい 「あなたと私」が変わるヒント』

子育て中のときの話をします。妻は大変でしたが、私はお母さん  
というものは子どもといっしょに居られるのが一番幸せなはずだ  
と思ってました。でもそれは間違っていて、妻は子育てに一生懸命に  
なればなるほど、自分を育てる時間が無くなり不安を感じるようになっていました。子どもとはなれ自分一  
人の時間を持てるようにと妻は私にずっと訴えていたというのですが、私は聞いた覚えがありませんでした。  
日本では、夫には妻の言葉を傾聴する気持ちが、妻には自分の主張を上手に伝える技術を身につける必要が  
あるかもしれません。

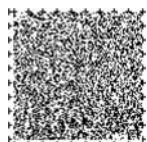
全員ではありませんが、我々夫は妻より自分のほうが上だという感覚を持ってるのではないのでしょうか。  
子育てが一段落した妻が仕事を始めて、私が自分でやるとしたらとても無理だと思った仕事をやり遂げたの  
を見たとき、何とも言えない気持ちが生まれました。尊敬に近いでしょう。

長女の話をして。東京で生まれ育って、全然縁の無い山形で農業を頑張ってる長女が、結婚したいから  
会ってほしい人だと連れてきたとき、私は相手に言いました。「娘は、自分で自分を守る娘だ。だから娘  
を守ってくれとは言わん。だけど、娘の生き方だけは、君、ちゃんと守ってくれよ」と。

最近深く感じる出来事がありました。義母が糖尿病の治療で入院中に転びまして、それまで大変元気だっ  
たのに、急に生きる希望を失ったかのように表情を無くしてしまったのです。私は、ああ、もうこれでダメ  
だと思いました。ところが妻は違いました。家にとって返すと義母の愛用している櫛を持ってきて、「お母  
さん、きれいにしようね」と髪を梳き始めたんです。すると義母の表情が花が咲くように明るくなりました。  
私は妻の行動に大変驚きました。そして我々男性は、もう少しいろいろなこと、特に人間が生きていく根っ  
このようなところに関心を持たないといけないなど、痛切に感じたわけです。

人間には、自分をちゃんと見つめてくれる、きちんと認めてくれる、求めてくれる人が必要です。そうい  
う大切な人と人との間で、上から下に見下ろすなんて  
悲しいです。人間はみんな対等ですから。

男女共同参画も、障害者や高齢者の福祉も、お互い  
にみつめあい認め合い、対等の関係で進めていこうと  
いう考えが根っこにあると思います。



# フェスタ 09 ました

## ■男女共同参画いきいき大賞

県内で積極的に男女共同参画を推進している個人・団体に贈られる賞です。

今年度は個人3名、団体2グループが受賞されました。



早くから「個性の尊重が大切で男女の別ではない」と提唱。人権意識を高く持ち、子育て支援に取り組み、NPO法人WACわかやま理事、NPO法人認知症サポートわかやま副理事長として活発に市民活動を行い、コミュニティ作りに尽力し、後進の育成にも力を注いでいる点が高く評価されました。

いさし かなこ  
**井指 加奈子さん**  
(和歌山市)



平成4年に美山村森林組合理事、平成16年には全国初の女性組合長に就任。こまめな地域懇談会や経営改革により、危機にあった同組合を立て直し、また後継者の育成にも取り組み、平均年齢の大幅な若返りに成功するなど、林業を地域産業の中心に据えた地域活性に積極的に取り組んでいる点が高く評価されました。

そうがわ としこ  
**寒川 歳子さん**  
(日高郡日高川町)



和歌山再チャレンジ学習支援協議会の主にTV番組の企画プロデュースに携わり、小学校や育児支援の講座などでのメディアリテラシー教育の講師、生涯学習や市民と行政の協働、まちづくりなど様々な分野で活躍し、市民の男女共同参画社会づくりの気運醸成に大きな役割を果たしている点が高く評価されました。

まさご みか  
**眞砂 美香さん**  
(紀の川市)



(代表理事：新谷稜助さん、写真は副理事の久保田省悟さん)  
ゆず栽培農家の女性を中心に、ゆずという地域の農業資源を中心に据えて、幅広く「むらづくり」に取り組み、商品開発、広報、販路開拓など女性の経営参画が顕著で、ゆずを活かした雇用創出、ミニコミ紙の発行など男女組合員が力を合わせて取り組んでいる点が高く評価されました。

のう じくみ あい ほう じん  
**農事組合法人  
古座川ゆず平井の里**  
(東牟婁郡古座川町)



(会長：稲垣明美さん、写真は副会長の日浦成美さん)  
農家の女性たちで構成する4つの生活研究グループが発展。桃を使った加工品の開発など地域女性の起業活動のモデルとなり、さらに女性の感性を生かした体験交流や、独自のイベントを開催するなど観光にも一翼を担い、都市と農村の交流、地域の活性化に取り組んでいる点が高く評価されました。

とう ゆめ こう ぼう  
**桃りゃんせ夢工房**  
(紀の川市)

ベストパーソン賞

ベストグループ賞

## ♪バイオリン演奏によるミニコンサート♪

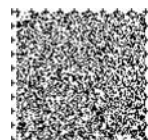


和歌山盲学校小学部3年生の菅田利佳さんに、「千の風になって」「スタジオジブリメドレー」「唱歌メドレー」を演奏して頂きました。楽しく快活な演奏と、たくさんの方にチャレンジしているお話を聞いて、元気もらいました。

## ■女性のチャレンジー坪ショップ



二人展(押し花ミニ展示、写真と言の葉のミニ展示&ミニ販売)、スワロフスキーアートのネイル体験、クラフトテープのカゴなどを作る紙ひも工芸、鍼灸&マッサージのぷち癒し体験など、盛り沢山なメニューで多くの方々に体験いただき、時には待ち時間がでるほどの賑わいでした。



りいぶるわいらいサロン

## 『好奇心のひと・有吉佐和子～彼女が見つめたものあれこれ～』

日時：平成21年10月31日（土）13:30～15:30

和歌山県出身の作家、有吉佐和子さんを取り上げました。ゲストスピーカーに天満天神繁昌亭の支配人で、有吉さんについての研究・著作もされている恩田雅和さんをお招きし、有吉さんの生い立ちや作品（紀の川、恍惚の人、複合汚染など）をとおして、またビデオや音楽を交えながらその魅力についてお話いただきました。

お話のあと、恩田さんを交えた交流会を行い、有吉さんの人柄、作品の魅力、多くの作品の舞台となった和歌山の各所等について、和やかな雰囲気



で意見交換を行いました。参加された方からは、「お話が面白く、内容も豊富でよかった」「有吉佐和子についてより知ることができてよかった」「もう一度、有吉佐和子の作品を読んでみようと思った」等の感想をいただきました。



あなたも  
講師体験!

## 『時間を味方につけて』

～さらにあなたが輝く劇的な方法～

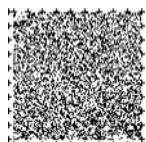
講師：川端京子さん  
日時：平成21年11月14日（土）13:30～15:30  
11月28日（土）13:30～15:30  
12月13日（日）13:30～15:30

この講座は、一般の方から企画を募り審査により選ばれた方が講座を担当する「あなたも講師体験！」事業の講座のひとつです。

今回、自己啓発に関心のある方のために、時間活用とセルフマネジメント等を通じ、人生をより豊かに楽しむための具体的方法と実践を3回にわたり実施しました。

講師の川端さんは、民間企業に勤務しながら、育児、家事等の合間に大学への通学や各種の資格に挑戦しています。また、そのかわら、年間数百冊のペースで本を読むというすきま時間を効率よく活用する方法を自ら実践しています。

今回の講座では、講座修了後も参加者自身が設定した将来目標について、講師と熱心に意見交換する姿が見られました。



# 男女共同参画啓発ポスター入賞作品決定

平成21年7月～9月にかけて、男女共同参画をテーマ（「すてきだね ひとりひとりが 大事にされる社会」 「自分らしさの 花を咲かそう 共同参画」）とした啓発ポスターを募集しました。  
県内から251点の応募があり、審査の結果、最優秀賞5点、優秀賞11点が選ばれました。



小伏 啓太さん  
和歌山市立小倉小学校(4年)



山内 梨央さん  
和歌山市立宮北小学校(1年)



鈴木 亜依子さん  
橋本市立学文路中学校(3年)



森岡 莉穂さん  
かつらぎ町立笠田中学校(3年)



優秀賞のみなさん



今井 美和さん  
和歌山県立星林高等学校(1年)

田中 千晴さん 和歌山市立小倉小学校(5年) 青木 菜奈さん 和歌山市立雄湊小学校(4年) 西川 紗矢さん 和歌山市立雄湊小学校(4年)  
西畑 光騎さん 和歌山市立雄湊小学校(4年) 石上 綾香さん 和歌山市立宮北小学校(1年) 田中 篤さん 和歌山市立宮北小学校(1年)  
新井美沙希さん 和歌山大学教育学部附属中学校(2年) 筈谷 亮太さん 和歌山大学教育学部附属中学校(2年) 鹿嶋玲央奈さん 和歌山市立明和中学校(2年)  
藏富 千晴さん 和歌山県立星林高等学校(1年) 土井 咲良さん 和歌山県立星林高等学校(1年)

応募のあった全作品を和歌山バス(株)のご協力を得て、路線バス(シャトルバス)車内へ順次展示しています。(平成22年5月まで)

## 青少年・男女共同参画課いんぷおめーしょん

男女共同参画推進事業者を登録しました。

御坊商工会議所 (登録番号 男女第39号) 平成21年10月16日登録

所在地 御坊市 業種 経済団体

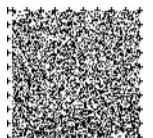
H P <http://www.gobo-cci.or.jp>

- スキルアップを目指す従業員に対する積極的な資格取得の支援
- 管理職への積極的な女性の登用
- 半日単位の有給休暇取得制度の導入

医療法人北斗大洋会 (登録番号 男女第40号) 平成21年10月21日登録

所在地 那智勝浦町 業種 医療・社会福祉事業(老人保健施設、診療所等運営)

- 性別に関係なく、能力や責任感に応じた公平な人事評価。管理・監督職への登用
- 就業規則にセクシュアル・ハラスメント防止に関する項目を規定し、職員に周知
- 安定した職場づくりのため、意欲や能力がある職員については、研修期間を経た後に正社員として採用



## 講座案内

講座名	開催日	開催日時	場所
企画提案事業 「高齢社会をとも(男女)に生きる」	平成22年1月16日(土)	13:30~15:00	海南市保健福祉センター
講師体験事業 「『食』からみつめる健やかな暮らし」	平成22年1月16日(土) 平成22年1月23日(土)	13:30~15:30	りいぶる会議室A
企画提案事業 「わたし流 凛とした暮らし方」	平成22年1月24日(日)	13:30~15:30	和歌山県立図書館 メディアアートホール
主催講座「災害と女性」	平成22年1月26日(火)	13:00~15:00	広川町民会館
	平成22年1月27日(水)	10:00~12:00	新宮市保健センター
りいぶるシアター 「殞(もがり)の森」上映	平成22年1月31日(日)	13:30~16:00	りいぶる会議室A
主催講座「起業応援セミナー」	平成22年2月13日(土)	13:00~16:30	りいぶる会議室A
	平成22年2月20日(土)	13:00~16:30	
	平成22年2月27日(土)	13:00~15:00	
主催講座「男性の子育て応援講座」	平成22年3月13日(土)	13:30~15:30	りいぶる会議室A

申し込みは、りいぶるまで。TEL 073-435-5245

和歌山県男女共生社会推進センター「りいぶる」メールマガジン

**りいぶるほっと情報** 登録者  
募集中!

“りいぶる”の講座・イベント情報、新着図書・ビデオ・DVDの情報などを、いち早くみなさまのパソコン・ケータイへお届けします！おトクな情報満載です！

**登録はカンタン！**

☆**パソコンの場合**  
下記のアドレスにアクセスし、登録メニューにメールアドレスを入力し、登録ボタンを押すだけ！  
[http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031501/melmaga/mailmagazine\\_info.html](http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031501/melmaga/mailmagazine_info.html)

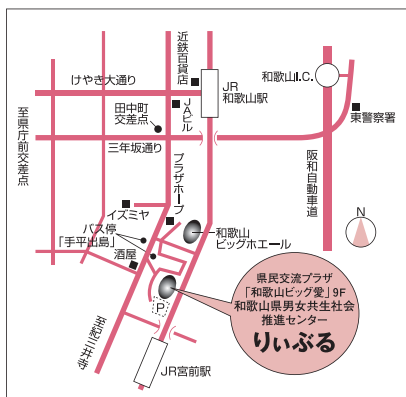
☆**ケータイの場合**  
お使いのケータイよりM0091480@r.mini.mag2.comへ空メールを送信するだけ！

登録が面倒、操作がよくわからないという方は“りいぶる”事務室までお越し下さい。

### 会議室の使用申込・ご利用について

ビッグ愛9階の共用会議室(会議室A・B・C・一時保育ルーム)の申込・利用については以下の点にご注意ください。

- ①使用申込については電話だけの予約はできません。  
**必ず、使用申込書を“りいぶる”までご提出ください。**(申込書の提出はFAX、Eメールでもできます。なお、空室状況を“りいぶる”までご確認の上、お申込みください。)
- ②申込みは使用日の3ヶ月前からできますが、りいぶる、NPOサポートセンター、(社)青少年育成協会の事業の日程により、使用できない日もありますのでご了承願います。
- ③会議室内の飲食についてはご遠慮いただいています。  
**なお、使用後は清掃をお願いします。**
- ④当日、使用される前に、必ず“りいぶる”事務室までお越し下さい。また使用後も“りいぶる”事務室までお声がけください。  
会議室の空室状況をホームページで公開しています。(参考情報です。最終確認は“りいぶる”までお願いします。)  
アドレス <http://wpyda.org/html/kaigisitu/akisel.htm>



### 企画・発行

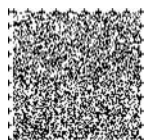
和歌山県男女共生社会推進センター

# りいぶる

〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2  
県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛9F  
TEL (073) 435-5245・FAX (073) 435-5247  
URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031501/index.html>

**開館時間** 火曜日～土曜日：午前9時～午後9時 日曜日：午前9時～午後5時30分

**休館日** 毎週月曜日・国民の休日(祝日)・年末年始(12月29日～1月3日)



“りいぶる”では皆さまのご意見、情報をお待ちしています。[メールアドレス]e0315011@pref.wakayama.lg.jpまで